

製品名: TBX3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18710**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	79kDa

抗原情報

遺伝子名	TBX3
別名	TBX3; T-box transcription factor TBX3; T-box protein 3
遺伝子 ID	6926.0
SwissProt ID	O15119
免疫原	抗血清はヒト TBX3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 301-350

背景

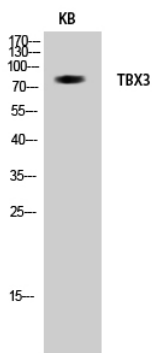
この遺伝子は、共通の DNA 結合ドメインである T ボックスを共有する、系統学的に保存された遺伝子ファミリーの一員です。T ボックス遺伝子は、発生過程の制御に関与する転写因子をコードしています。このタンパク質は転写抑制因子であり、四肢動物の前肢の

前後軸において役割を果たしていると考えられています。この遺伝子の変異は、四肢、アポクリン腺、歯、毛、生殖器の発達に影響を及ぼす尺骨乳腺症候群を引き起こします。この遺伝子の選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする3つの転写バリエーションが生成されますが、そのうち1つのバリエーションの全長は未だ解明されていません。[RefSeq 提供、2008年7月]、疾患：TBX3の欠陥が尺骨乳腺症候群（UMS）の原因である[MIM:181450]。UMSは、尺骨骨棘欠損、肥満、性器機能低下、思春期遅発、乳首およびアポクリン腺の低形成を特徴とする。機能：発達過程に関与する転写抑制因子。四肢のパターン形成に関与していると考えられる。類似性：TボックスDNA結合ドメインを1つ含む。組織特異性：広く発現している。

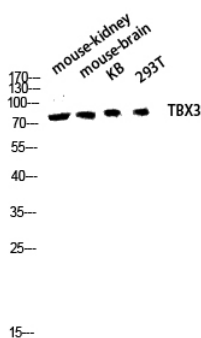
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



TBX3 ポリクローナル抗体（1: 1000 希釈）を用いた KB 細胞のウエスタンブロット解析



TBX3 抗体を用いたマウス腎臓およびマウス脳 KB 293T 溶解のウエスタンブロット解析。抗体は 1:1000 に希釈した。